令和3年NPO共生学舎お米作り精算書

2021.12.05.

収入			支出	
お米の販売			わらソイル(3袋)	6,138
NPOメンバー	27袋	189,000	バイオ有機肥料	24,400
	端数分	4,000	ヒノヒカリ苗代(@720×50箱) 振込料含む	40,040
高畑自然教室		10,000	除草剤(3種類)	24,000
大同生命厚生事業団助成金 10万円			除草剤(追加分)	3,460
			脱穀(@40×843Kg)	33,720
			お米紙袋(30袋)	2,580
			コンバイン袋(追加)	384
			レンターカー(2回分)	10,184
			畦修理材料費	6,754
			収益(燃料費含まず)	**51,340**
計		203,000	計	203,000

①令和3年度の結果について
気候と昨年度のようにウンガ被害がなかったため843K(30K*28袋)の玄米を収穫
お米づくりによる収益も約5万円(＋助成金10万)をGetすることができた。特に
今年度はメンテナンス費用がなかったが、コンバインをメンテすると収益は無くなる。

②今後のお米づくりに向けての課題
お米づくりのノウハウも出来てきたので安定した収穫(30Kを25~30袋)を目指す。
トラクター、田植え機、コンバインとも中古で古いのでメンテナンス費用を確保する。
幸いお米づくりは食育として助成金がもらいやすいので毎年助成金にチャレンジする。

③NPO会員の有機栽培の考え方に会うお米の有機栽培を出来るだけ続ける。

④お米以外の副産物　藁とモミガラは野菜づくりに必須。

⑤令和4年度の課題
営農クラブが解散するので今後の脱穀先をどうするか。(山本さんに依頼)